

一對の複眼のみを有して單眼を有せず

備考 バツカード氏昆蟲書第一七九、一八〇頁及日

本昆蟲學二百七頁)

口器 は一葉の上唇ありて柔毛を蜜生し上顎或は大腮

(Mandible) は黑色にして全右に一對ありて四鋸齒をな

し其質至て強固なり一對の下顎或は小腮 (Maxillae) は

上顎の下方より起りて三關節をなし此に一對の下顎鬚

(Maxillary palpi) ありて六關節をなす下唇は左右一對の

下唇鬚之に伴ふて四節に分れる

歩肢は三對ありて普通昆蟲類と同じく各肢は五節に分れ

未節の先端には鈎狀の爪を有す

却説右之解剖によりて愚考すれば多分松村氏日本昆蟲學

に記載あるポリハキス屬 (Polyrchus) のトゲアリ

(Polyrchus Tannellianae, Sm.) に相異なからんと推考

すれども愚察によれば左の異同あるを見る

日本昆蟲學記載と異同の點比較表

日本昆蟲學記載

自家解剖記載

一、躰黒く胸部は赤褐を呈し……躰黒く胸部は赤褐を

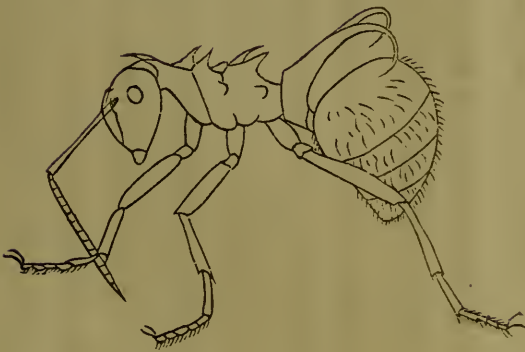
呈す
二、胸部六箇の刺あり……胸部八箇の刺あり
三、其内二箇は長く且つ灣曲す・其内最後部の二箇は
最も長くして後向斜
に且下方に灣曲す

右之差異あるが故に拙察を顧みず貴誌に投じて高説を仰

く

蟻の側面圖

第一圖



P. erradicus, Smith. (I) p. 377 (1874)

(II) p. 278, Pl. x. fig. 16

(六) *P. volatilis* Kirby. 兵庫 G. Lewis. 採集

Tombredo volatilis Smith. (I) p. 383 (1874)

(II) p. 278, Pl. x. fig. 16.

(七) *P. pallidiventris* Marshall.

(III) p. 505.

第二十三屬 *Lophyrus*.

(六) *L. japonicus* Marshall. 名和氏採集

(III) p. 506.

● 金峯山採集トゲアリ

村上萬太郎

昨卅一年十月九日金峯山採集を試みんとて第五高等學校

教授理學士會田龍雄先生に従ひ本山に至る登路を山の北

方に取り登ると二三丁にして大杉の扑んで道に横はれる

あり此近傍一種異様の蟻群徘徊するあり捕へて之を見れ

ば胸背に刺あり胸、腹は判然其色を異にし頗る寄態の感

あり故を以て斯く奇形を呈すは疑態の然らしむる所以か
果た他の事情の所爲が即時に解するを能く故に蟻數十匹
を捕へて此處を辭し歸り檢すれば左記の如し

外形 體は其全長六乃至七「ミ、ン」にして頭、胸、腹の三
部よりなりて頭部は三角形狀を呈し其色黒色、胸部は前、
中、後の三關節より構成せられ各節の腹面には各一對の
肢あり而して胸部全體赤褐色をなして頭、胸兩部の差異
此れが爲めに一屬著し背面には八箇の刺ありて前胸の一
對は前向し中胸部には二對ありて各對其後斜反す又後胸
部には二又し斜に後向し先端灣曲したる胸部最長の刺あ
り而して翅を飲く又中胸の側部には二個の微小突起のあ
るあり是れ恐くは前後兩翅の痕跡ならんか

備考 バツカード氏、ガイド、ツー、インセット第一

七九頁及松村氏日本昆蟲學二〇七頁 (206、翅を有

すれとも職蟻は全く之を飲く)

腹部は頭部と其色を同ふし微毛を粗生せり

頭部解剖 一對の觸角は肘狀(*Elbowed*)にして十二節よ

りなり基節(*Basal oiscape*)は甚た長し、